



製品カタログ

医療・福祉・介護・教育で選ばれる、
新しい支援のかたち



デジリハとは？

すべての人の“できた”を引き出す、リハビリ・療育支援の新しい選択肢

「デジリハ」は、リハビリ・療育・教育の現場で使えるデジタル支援ツールです。

リハビリ専門職だけでなく、どんな支援者も使いやすく、

「楽しい」「もっとやりたい」を引き出す支援が実現できます。

スタッフ満足度

90%以上

導入事業所での
利用回数

週 2 回以上
(平均)

70%

の支援職が主体的な
活動の促しが
可能になったと実感



当事者・利用者にとってのメリット

- 楽しい!またやりたい!が自然に生まれる主体的な活動に
- 動き・視線・声など、多様な方法で活動に参加できる
- 自尊感情の育成や、社会参加意欲の向上にもつながる



支援者にとってのメリット

- 多様な対象者に対応でき、支援の幅が広がる
- 活動内容を考える負担が軽減され、準備時間も短縮される
- スコアやフィードバックにより、成果が見え、やりがいにつながる



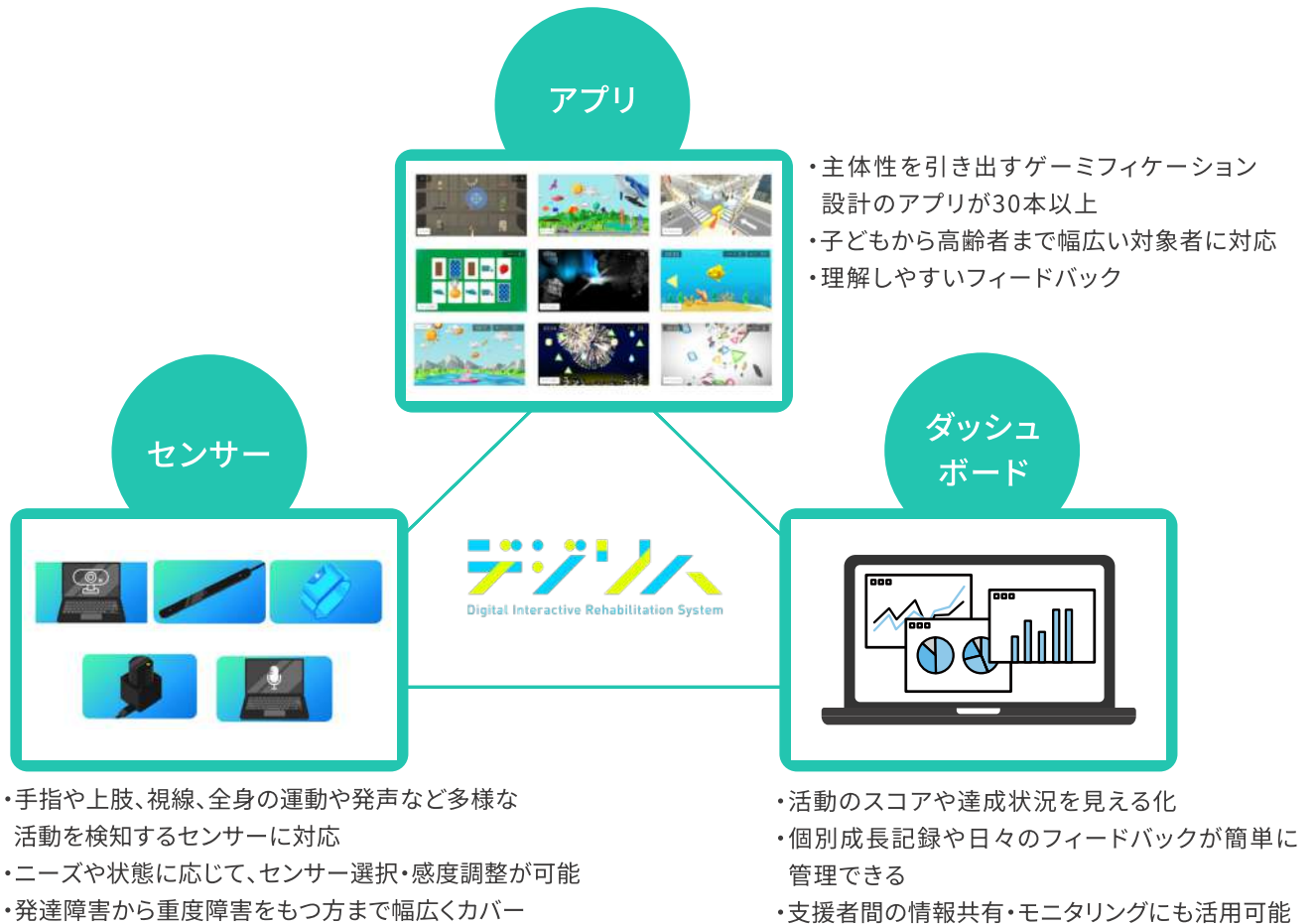
経営者・管理者にとってのメリット

- スタッフ全体で再現性の高い支援ができ、サービスの質が安定する
- 専門知識に依存しないため、新人教育にも活用できる
- 差別化&魅力的な支援が集客・定着・満足度UPにつながる

デジリハの主要機能

アプリ・センサー・ダッシュボードで支援を、もっと新しく、主体的に

「デジリハ」は単なるアプリではありません。
センサーとダッシュボードが連携した“誰でも使える個別支援ツール”。
質の高い支援と楽しさを、どちらも実現します。



可能性広がる! カスタマイズ機能



- 背景・オブジェクト・難易度・感度などを簡単設定
- 支援対象者ごとに「ぴったりな体験」を創り出せる
- PCが苦手な支援者でも直感操作でOK!



”できた!”を引き出すために

デジリハは、支援現場をまるごと進化させます

医療・福祉・介護・教育のすべての現場で、デジリハが選ばれる理由。

デジリハは、特別支援学校、放課後等デイサービス、生活介護、訪問看護、病院など、さまざまな現場で日々活用されています。導入の決め手となっているのは、「誰でも使いやすいこと」「楽しく続けられること」「成果が見えること」。あらゆる年代、障害特性に対応し、施設全体の支援品質を底上げします。



県立療育センター、
特別支援学校等を含む
全国200カ所以上で導入中
(2025年5月現在)



放課後等
デイサービス
児童発達支援

- ・5領域にあわせた活用
- ・専門的支援実施加算への活用
- ・個別・集団療育



生活介護

- ・運動習慣の確立
- ・認知機能のトレーニング
- ・余暇活動に活用



特別支援学校

- ・自立活動への活用
- ・体育、教科学習への応用
- ・交流級の活動に



医療機関

- ・外来・入院時のマンツーマン
リハビリのツールに
- ・回復期リハビリ病棟での
自主トレに



高齢者介護

- ・個別・集団での機能訓練に
- ・余暇活動の一貫として

福祉・教育分野での活用事例

利用児者の主体性を引き出し、スタッフとともに楽しみながら日々の支援をより効果的に

放課後等デイサービス・児童発達支援

運動・集中・自信を育てる！ “やりたい！”を引き出すICT療育

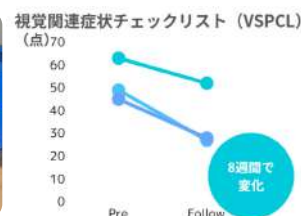
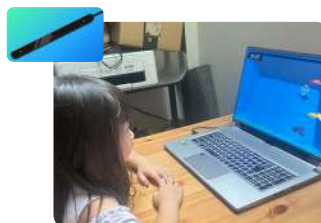
療育の現場では「楽しさ」を起点にした支援が、子どもの主体性や集中力を引き出しています。デジリハは、誰でも使いやすく、活動への参加を自然に促すツール。スタッフの負担を減らしながら、支援の幅と質を広げられるのが特徴です。



視線入力センサーの活用で、 支援の質に変化が！

視覚関連の困りごとをもつお子様に対し、週2~3回視線入力アプリを用いた支援を提供したところ、書字や手先の器用さ、空間認知において変化が見られました。

2023年小児理学療法学会で報告済



特別支援学校

生徒と教員の試行錯誤を伸ばす 対話と共創の授業の実現

児童生徒がどこを見ているか、どのタイミングで反応しているかがセンサー活用によって見える化されることで、教職員の”気づき”を促します。特別支援教育の現場に、新たな対話のきっかけをもたらすツールです。



教員インタビューから見た”デジリハ効果”

指導する側・される側という従来の関係から一緒にゲームのクリアを目指す関係に変化しました。

児童生徒の注意がデジリハに向くため、教員は客観的な評価・観察を行えます。



生活介護

日々の支援の中で自然と運動機会を増やし、 健康維持につなげる

デジリハの導入により、利用者様が「これがしたい」と自ら選び、主体的に活動へ参加する姿が増えています。ゲーム感覚で楽しむことで、通所回数が増え、生活リズムの安定にもつながります。



医療・介護分野での活用事例

利用児者の主体性を引き出し、スタッフとともに楽しみながら日々の支援をより効果的に

回復期リハビリテーション

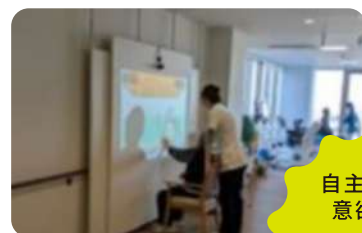
「自主練」の定着に！選ばれる リハビリ病院になるためのデジリハ活用

回復期リハビリでは“できた”の実感が、次の一步を生み出します。デジリハは、目に見える変化と達成感で、患者さんの前向きな行動を引き出します。



病棟にデジリハを設置！ 自主練環境を整備し安全な運動機会の確保に

リハビリ室外でも自主的な練習が行える環境づくりとして、病棟内にデジリハを設置。「楽しかった」「続けたい」という声とともに、週2回以上取り組む患者が約7割に達し、練習意欲の向上が確認されました。
回復期リハビリテーション病棟協会大45回研究大会にて報告済



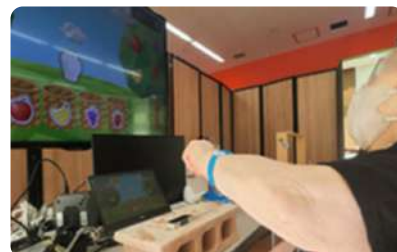
自主練への
意欲向上

75%

高齢者デイケア・通所リハ

身体機能・認知機能にも同時に アプローチ。軽度認知症の方も実践可能！

デジリハは、高齢者にとっても有効なリハビリツールです。通所リハビリの現場では身体機能へのアプローチだけでなく、注意機能や意欲への影響も示唆されています。

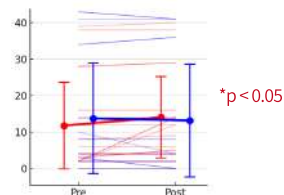


慢性期脳卒中患者の自主トレーニングにも活用！

デジリハをトレーニングに活用することで、利用者様が自主的に練習できる環境を提供できます。通常の自主トレーニングと比較した際に、上肢機能だけでなく「生活の中で手を使う」頻度と使いやすさの向上に寄与したと報告されました。

2024日本リハビリテーション医学会にて報告済

日常生活での手の使いやすさ (MAL QOM)



業務改善
にも貢献して
います

6カ月以上の利用で

60%以上が

「支援内容を考える負担が
軽減した」と回答



現場経験10年以上の方も含め

90%以上が

「支援のアイデアが増え、
幅が広がった」と回答



不慣れな方も安心！

30分削減

85%以上が以前と同等か
短い準備時間で支援を提供

目的に応じて選べる! アプリ・センサー紹介

デジリハは、「アプリ」と「センサー」の組み合わせで、多様な支援ニーズに応えます。
目的や障害特性に応じて、最適なセットを選ぶことで、より効果的な支援が可能になります。

HOKUYO



壁や床面に映した映像を直接タッチすることが可能になるレーザーセンサー。「触れると動く」という直感的なインタラクションを生み出し、複雑なルールの理解が要りません。全身運動の促進にもオススメ。

おすすめ 全身運動を促したい/因果関係の理解向上を支援したい/複雑な課題の理解は難しいが、身体活動を促進したい

Tobii Eye Tracker



視線を検知するセンサー。眼球の運動だけで操作が可能のため、重度障害者のコミュニケーションツールとしても活用されています。

おすすめ 視線入力を使ったコミュニケーションの練習がしたい/見る力・視覚認知を伸ばしたい/ビジョントレーニングに活用したい

Webカメラ



手指の骨格や動きを検知するセンサー。上肢全体を操作したり、手指の握り離しによってアプリを操作することが可能です。

おすすめ 手のリーチを促したい/上肢のコントロールを向上させたい/手指の運動を促したい/手指がよく動くので活動に生かしたい

PC内蔵マイク



声などの音量を検知するセンサー。複雑な設定やセンサー購入が必要なく、簡単に利用することが可能です。

おすすめ 発声を活動に利用したい/音量のコントロールを練習したい/持続的な発声の練習をしたい

Moffバンド



腕や足など四肢の動き(加速度)を検知するセンサー。感度を調整することにより、ほんのわずかな動きにも反応させることができます。身体障害が重度な場合に特に活用しやすいセンサーです。

おすすめ 四肢の自発的な動きを引き出したい/指先の微細な自発運動を活用したい/因果関係の理解を促したい

活用事例

注意機能への アプローチ ×

ハンドトラックセンサー



もぎゅっとフルーツ

手の動きでアイコンを操作し、画面上のフルーツを収穫するアプリ。注意機能へのアプローチに活用されています

眼球運動への アプローチ ×

視線入力センサー



むしコレ!

様々な方向から出現する昆虫を素早い眼球運動で捕まえるアプリ。注意機能へのアプローチに活用されています

動的バランスへの アプローチ ×

HOKUYOセンサー



忍者でドロン!

壁面に投影した映像の中に現れる忍者を素早くタッチするアプリ。全身バランスへのアプローチに活用されています

さらに詳しいアプリの
紹介はWEBへ!



みんなの「できた!」が、 全国に広がっています

放課後等デイサービス
児童発達支援



児童発達支援事業所
やわらソレイユ様

「デジリハで遊びながら、今いる時間をどう有意義に過ごすか、自然と考えるようになりました」

生活介護事業所



北九州手をつなぐ育成会
インクル小倉北様

「利用者の楽しみができたことで通所回数が増えました。労働環境の向上にも貢献してくれています」

医療機関



南山リハビリテーション病院様

「遊びを取り入れながら身体を動かす方が、患者さんと看護師さんの両方が楽しんで取り組めると思っています」

アフターフォロー

活用に不安のある方でも安心!手厚い伴走で様々な職種のスタッフ様にご利用いただけます

全国の
ユーザーと
つながれる!



オンライントレーニングや
ユーザーイベントを通じて、多様な視点・
経験をもつユーザーと情報交換できます

オンラインで
気軽に学べる!



公式LINEや簡単動画で
利用の基礎を気軽に学べます

使うだけじゃない、つながれる・学べる・共有できる。

デジリハには“ひとりじゃない支援”があります。

導入までのシンプル4ステップ

デジリハの導入は、現場に合わせたご提案からすぐに使えるサポートまで、4つのステップで完結。はじめての方でも安心してご利用いただけます。

① 無料相談会

デジリハの概要の説明や、ニーズのヒアリング等を行います。所要時間は30分～1時間程度です。



② デジリハ体験

全国で体験会を開催しています。導入施設への見学も受付中!実際にデジリハを見て感じてください。



③ プランの決定

プランの中から最適なものを選択いただけます。センサーや機材なども合わせて決定します。



④ スタート

機材が用意できたらデジリハライフのスタートです。



ご用意が必要なもの

ご利用希望のセンサー



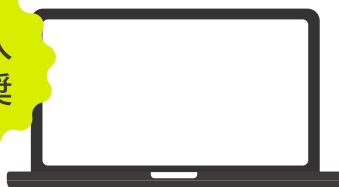
要購入

インターネット環境



ノートPC (Windowsのみ)

購入推奨



最低動作確認
CPU: Intel Core i5 以上
メモリ: 16GB 以上
OS: Windows 11 以上
モニター解像度:
1920×1080 px 以上

プロジェクター (HOKUYO利用時)



※機種のご指定はございませんが、環境によって推奨プロジェクターが変わります。
※オススメ機種はお問い合わせください

※上記未満の環境でも起動は可能ですが、アプリ動作に遅延(ラグ)が発生する場合があります。安定した利用のために、第11世代以降のCore i5 / i7 を推奨いたします。

利用者・支援者・施設が嬉しい支援へ。
デジリハが、あなたの現場に寄り添います。



株式会社デジリハ

所在地：東京都渋谷区渋谷2-24-12

渋谷スクランブルスクエア39階

設立：2021年

代表取締役：岡 勇樹

URL | <https://www.digireha.com>

メール | info@digireha.com

電話 | 050-1725-2880(平日9:00~17:00)